



## 高校野球その2



先月に引き続き、沼津東高校野球部のお話です。秋の東部地区大会準決勝（8月30日）で、強豪加藤学園と対戦するというところまででお話しましたが、なぜか加藤学園はエースピッチャーを先発させてこなかったため、4回までに5点を取り5対0と優位に試合を進められました。5回に1点を返された後、加藤学園のエースが登板してきてからは、2安打無得点と完全に抑え込まれ、防戦一方になりました。しかしエース森田（右投）とリリーフ安田（左投）の踏ん張りで、なんとか5対1で逃げ切り勝利し決勝戦へ進みました。東部地区の決勝戦は、勝てば45年振り優勝となる知徳との対戦でしたが、残念ながら私は仕事の関係で応援に行けません。試合は相手投手に完全に抑え込まれ、散発3安打の0対4の完封負けでした。しかし県大会シードの権利を獲得し、秋の県大会へ東部2位としての出場となりました。県大会の2回戦（1回戦はシード）の相手は、磐田東高校（西部5位）でした。前日に1回戦があったためか、磐田東の先発はエースナンバーではなかったのですが、序盤はなかなかチャンスをつかめず、1・2・3回は逆に磐田東に攻められてピンチの連続でした。それを何とか凌いで、3回に先取点を挙げると、続く4回には途中から登板した相手エースも打ち崩し、8点を上げ9対0と大量リード、5回コールドも見えたのですがチャンスをつぶし、7回に2点を返されたものの、9対2で7回コールド勝ちを収めることができました。これで11年ぶりの秋の県大会ベスト8となりました。準決勝の相手は藤枝明誠（中部地区の4位）ですが、最近甲子園にも出た強豪校です。9月21日、草薙球場第2試合、2回までは0対0でしたが、3回の表に先頭の1番バッターにヒットを打たれ、2番がバンドで送り、1死2塁、ここでの3番バッターへの四球が痛かった。そして迎えた4番にボール先行で追い込まれ、苦し紛れにど真ん中に投げたストレートを、見事に左中間へホームランを打たれ0対3、そのショックからか連打や四球を与えて、一挙7点を失いました。5回コールド負けも考えられたのですが、今年のチームは粘りがあります。4回に3点、5回に1点を返して8対4と一時は4点差まで追いつけたのですが、相手のエースが出てきてからはチャンスを作ったものの得点を奪えず、4対10で敗戦となりました。



もう少しで東海大会が見えていたので残念です。この試合に勝ち、もう1試合勝てれば、東海大会に出られたのです。そうなれば、文武両道の沼津東高校は春の選抜甲子園に21世紀枠で選ばれる可能性大だったのです。正直、夏の選手権大会優勝は厳しいので、秋の大会が狙い目なのです。残念でした。でも部員17名中2年生が6名、1年生が11名、2年生6人が全員出場し、それに1年生3人が加わるというメンバーで、ほぼ同じ9名がずっと出ているという状況の中、よく頑張りました。冬に選手層の底上げをはかり、来年の春の大会を目指します。秋の公式戦の結果は5勝2敗、県大会ベスト8という結果でした。お疲れ様でした。因みに、県大会決勝は9月28日草薙球場にて静校・静商を破った加藤学園と藤枝明誠との対戦となりました。両高ともこの秋対戦したチームです。なんだか、余計に悔しいです。3位決定戦は静商と聖隷クリストファーです。

英樹

壁というのは  
できる人にしかやっこない  
越えられる可能性がある  
人にしかやっこない  
だから壁がある時は  
チャンスだと  
思っている

イチロー

ちょっと  
ブレイクタイム



# 配り

第244便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室  
TEL (0550) 87-0048  
FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地



社会人一年生の初孫は

たのもしくなり嬉しい宴会

林なをみ

野分き吹けば母が拝みし田の畔に

曼珠沙華咲き秋彼岸来ぬ

勝亦りつ子





## よくよく調べてみると。



今日はちょっと難しい科学のお話。といっても文系のワタクシが書くのだからそれほど難しい話にはなりませんよ。安心して読んでください。

秋と言えば食欲の秋です。はい、スポーツとか読書とか、いろんな〇〇の秋がありますが、ダントツ一位の人気、キングオブ秋の催し、食欲の秋。まあ「キノコを食べたい」って話なんですけど、東日本大震災での原発事故以来、富士山麓のキノコの放射性セシウム値が食品安全基準である 100Bq/kg を超えているっていうので出荷は控えるようにとの指導が入ったりします。そうか、基準値を超えるのか、食べたら危ないのか！とほとんどの方がお思いになるでしょう。では、どのくらい危険なんだろう？と思って原発事故前の値をいろいろ調べてみた。

放射線医学総合研究所比較環境研究グループの論文の中に、1989-1990年に富士山で測定したキノコ(生)のデータでセシウム 137 が 1070Bq/kg というのがあり平均で 245Bq/kg との資料があった。あれ？基準値超えてるよ？いいえ、超えてないのです。当時の基準値は 500Bq/kg 以下だったんですよ。原発事故後、2012年に現行の基準値に改定されました。では今回富士山のキノコで計測されたセシウム 134 と 137 の合計の値はというと静岡県発表で「190Bq/kg」あれ、そんなに高くない、って思いませんか？そう、それほど気にしなくて良いのではないかなと僕自身は思います。妊婦さんやお子さんに積極的には勧めませんが、僕は野生のキノコ、食べちゃいます。でも今年は忙しくてキノコ狩りに行けそうもありません。ちなみに原発事故以前から観測されている放射性セシウムはどこから来たのかというと 1960年代の大気圏内核実験の産物らしいです。人間は罪深いね。

柳田 敏和



## センブリ



季節の変わり目か、頂き物のお菓子、くだもの食べ過ぎか、胃の調子が少々重いので、センブリを思い出して飲んでます。すっごく苦い！一日の内一食抜けばいいのだろうと、なんとなく分かっている自分がいて、しかし、途中お腹がすくので手頃な、そこにあるお菓子に手が伸びる。私はスレンダーな体型なので食べないとばてるような気がするが、そうでもない。現代人の一日3食は食べ過ぎだと言うかたもいらっしやる。3食+αは量にもよるが確かに食べ過ぎか。アスリートや労働者は別としての話だし食べたくても食べられない人もいるのだから、食べられる私は幸せだと思っているのですがね。

胃の不調に効くといわれるセンブリ、ネットで調べると日本以外にはあまり薬草として使われていません。って。センブリは千回振りだしてもまだ苦いことからの命名だそうで、花、茎、根のすべてが苦く、薬用には全草を用いる。胃痛・腹痛・食欲不振・下痢などに使用する。『良薬口に苦し』ぴったりです。飲む本人もそれが頭にあるので効いたように気がする、いや、効く。食欲の秋、ほどほどに美味しいものを頂きたいものです。

栗の裏ごしした茶きん絞りのお菓子。おいしいんですね。

ねがみ



## お手上げ



ひと昔前は「消費は美德だ」「お客様は神様だ」と人々は、はやし立てられたものだった。

そして今、「我々は絶滅の入り口に直面しているのに、あなた達が話すのは、金と永遠の経済成長というおとぎ話だけ。」スウェーデンの16才の少女は「若者を失望させたら許さない」と国連の「気候変動サミット」で、こう演説を結んだ。と新聞に。

先人の苦闘の末の戦後の復興です。大方の人々はそれなりの美食、それなりの贅沢に酔いしれて今日迄。そして今、私共は困っています。それなりの贅沢を手放したくない。又折角、近代科学の力で解決したと思った事も必ずと言っていいほどリスクがついて来る。戦中と動機は違っても、やはり「贅沢は敵」なのではないでしょうか。欲は果てないだけに、付きあい難いです。

栗原



## スズムシと閑古鳥



9月の半ば、3連休の後、賃貸不動産資格のための講習を受けに有明まで2日間泊りがけで行って来ました。往復しても良かったのですが、シーズンオフだったため行き帰りの電車賃並に安い宿が取れてしまい、スクリーンに映し出されるビデオを見続ける眠気との戦いが終わった後、チェックインまで周辺をぶらぶらと散歩していました。完全に新設の埋立地ですので、建物も何もかも新しくコンクリート熱で蒸し揚がるのを覚悟していましたが、駅前より少し外れた場所では以外に緑地や公園が綺麗に整備されていて、スズムシの鳴き声まで聞こえていました。ビルの灯も落ち着いた印象。観光地としては手前の東テレ社や、旬な豊洲築地に行く人間はいてもこの辺りは人気がないようで、乱立している複合施設はオフィスの隙間に入っていた店舗等は、すでに撤退しているような痕跡が見て取れました。都の中心ではないとはいえ、僕らの暮らしている片田舎と真逆の立地でも立ち行かなくなる店舗もあるというのが、悲しさというか寂しさを覚えます。

話は変わりますが、1年ほど前になるのですが神戸へ行った際も、新幹線までの空き時間に周辺散策をしたのですが、神戸の昔ながらの商店街はまだ盛況が見てとれ活気を感じました、しかし大きな私鉄駅、新神戸の最寄りの在来線を抱き込んで立っていた複合施設はイオンとコーヒー屋を残してすべてテナントが撤退しており、場所を間違えたかと何度もマップを見返していたのを覚えています。不動産運用リスクのお手本のような物を見て感動的でもありました。このような大きな建物に関わることは恐らく今後ないはずですが、明日は我が身です。空き家一つにしても今後どうしていくべきか、今まさに学び始めている事柄です。かつてあった人の営みが失われた場所というのは、なんともノスタルジックを感じるのにはうってつけですが、我々はなるべく永く質の良い空間を維持するのにもまた仕事なわけですから、これで良いのだとは肯定できない部分があります。スズムシが鳴くか、閑古鳥が鳴くか。

正樹